

茨城県内の衆議院選挙立候補予定者40名全員を含む44名に

霞ヶ浦の放射能汚染問題への対応を質すアンケートを送付しました。

11月14日付けで、茨城県内選出の国会議員18名に霞ヶ浦の放射能汚染問題への対応を質すアンケートを送付しました。(回答期限11月30日)

11月20日付けで、茨城県内の衆議院選挙立候補予定者12名に追加発送しました。(同11月30日)

11月26日付けで、茨城県内の衆議院選挙立候補予定者9名に追加発送しました。(同12月3日)

12月3日付けで、茨城県内の衆議院選挙立候補予定者5名に追加発送しました。(同12月6日)

12月7日現在 衆議院選挙立候補予定者40名の内、下記11名から回答がありました

選挙区	氏名	政党
1区	田谷武夫	共産党
2区	原田雅也	みんなの党
3区	小林恭子	共産党
4区	高野 守	民主党
4区	宇野周治	共産党
6区	青木道子	共産党
6区	栗山天心	日本未来の党
7区	永岡桂子	自民党
比例	新谷正義	自民党
比例	塩川鉄也	共産党
比例	梅村早江子	共産党

未回答者

選挙区	氏名	政党	選挙区	氏名	政党
1区	福島 伸享	(民主党)	1区	田所 嘉徳	(自民党)
2区	石津 政雄	(民主党)	2区	額賀 福志郎	(自民党)
3区	葉梨 康弘	(自民党)	3区	小泉 俊明	(日本未来の党)
比例	石井 章	(日本未来の党)	4区	梶山 弘志	(自民党)
5区	石川 昭政	(自民党)	5区	福田 明	(共産党)
6区	丹羽 雄哉	(自民党)	6区	狩野 岳也	(無所属)
7区	柳田 和己	(民主党)	7区	中村 喜四郎	(無所属)
比例	石井 啓一	(公明党)	比例	川口 浩	(民主党)

比例	輿水 恵一	(公明党)	比例	山内 康一	(みんなの党)
比例	中島 政希	(無所属)	1区	武藤 優子	(日本未来の党)
参議院	岡田 広	(自民党)	参議院	郡司 彰	(民主党)
参議院	藤田 幸久	(民主党)	2区	梅沢 田鶴子	(共産党)
1区	海老沢 由紀	(日本維新の会)	3区	前田 善成	(日本維新の会)
5区	大畠 彰宏	(民主党)	6区	大泉 博子	(民主党)
6区	深沢 裕	(日本維新の会)	7区	筒井 洋介	(日本維新の会)
比例	岡本 三成	(公明党)	7区	白畑 勇	(共産党)
参議院	長谷川 大紋	(無所属)			

アンケート回答

設問1. 霞ヶ浦の放射能汚染問題に対して、国会議員候補者として今後具体的にどのように対応される予定ですか？

1区	田谷武夫	徹底した調査が必要です。流入する全河川をきめ細かく、系統的に調査し、まず放射能汚染の実態を全面的に把握することが前提だと思います。そのうえで、線量が高いところは迅速に除染をおこない、放射性物質の霞ヶ浦への流入を最小限に抑える緊急措置を実施すべきです。
2区	原田雅也	霞ヶ浦の放射能汚染がなくなるよう全力を注ぎます。
3区	小林恭子	霞ヶ浦で進行している放射能汚染はきわめて重大な事態です。水道資源、農工業用水となっている現状からみてただちに対策を取るべきです。
4区	高野 守	震災からの復興等まだまだ道半ばではありますが、この震災からの復旧・復興、原発事故対策、風評被害対策は、この時代に生きる政治家の最大の責務であり歴史的使命。市民の放射能に対する不安を取り除くため、まずは詳しい調査を早急に国や県が中心となり市民や研究機関と連携し実施する必要はある。
4区	宇野周治	政府と東京電力の責任で徹底した除染に総力をあげて取り組むべきです。継続的、系統的な実態調査を行い、除染は迅速に行わせ、流入を防ぐべきです。
6区	青木道子	現在は考えていませんが、国会議員になりましたら、貴団体のようなNPO等の専門家集団の考えを十分伺いながら、より適切で効果的な対応をしたいと思えます。
6区	栗山天心	民間・行政・研究機関・企業が力をあわせることは、理想的です。今後も活動されるよう期待いたします。
7区	永岡桂子	霞ヶ浦の放射能汚染問題については、早急に対策を講じることが重要と考

		えます。現在、放射性物質モニタリング調査が定期的に行われているところであり、そのモニタリングの結果を踏まえ、実態を的確に把握し、早急かつ適切な対策が講じられるよう政府に働きかけて参りたいと考えます。
比例	新谷正義	汚染が拡大しないように、県と連携して早急に対策が必要と考えています。
比例	塩川鉄也	NPO 法人アサザ基金の継続的なモニタリング調査の結果、福島第1原発事故が原因と考えられる放射性物質が霞ヶ浦の多数の流入河川に集まり、それが霞ヶ浦に移動していることがあきらかになったことはきわめて重大です。国民のいのちと健康を守るために、あらゆる力を結集した対策が求められます。とくに、国の責任を明確にし、十分に役割を果たせていくことが求められます。そのために全力を尽くしていきたいと思ひます。
比例	梅村早江子	NPO 法人アサザ基金の継続的なモニタリング調査の結果、福島第1原発事故が原因と考えられる放射性物質が霞ヶ浦の多数の流入河川に集まり、それが霞ヶ浦に移動していることがあきらかになったことはきわめて重大です。国民のいのちと健康を守るために、あらゆる力を結集した対策が求められます。とくに、国の責任を明確にし、十分に役割を果たせていくことが求められます。そのために全力を尽くしていきたいと思ひます。

設問2. 現在全流入河川での詳細なモニタリングを実施しているのは、民間のNPO等のみです。行政は、民間からの協働の呼び掛けがあるにもかかわらず、民間との連携を図ろうとしません。政府が提唱する新しい公共の理念からも、環境省等の行政機関や研究機関がもっと積極的に市民との協働で放射能汚染対策を実施すべきだと考えますが、国会議員候補者としての考えをお示し下さい。

- 1区 田谷武夫 系統的な調査は、長期にわたると思ひます。国の責任を原則にしながら、市民団体や自治体、地域の協力体制も必要になると思ひます。専門家の派遣や財政支援などの国の支援体制を整えるべきだと思ひます。
- 2区 原田雅也 本来は行政がやるべきことであるので、NPOの皆様の意見を取り入れながら政府主導で実践すべき。
- 3区 小林恭子 調査地点が少ないうえに、さらに減らしてしまったなど、国の対策はまったく無責任です。汚染の全容を把握できるよう、流入河川、湖底の汚泥などの調査地点を抜本的に増やすとともに、研究機関、NPOなどと協力し、地域の力を生かして再生対策を実施すべきです。
- 4区 高野 守 国・県が中心となり、市町村や市民・研究機関と連携し早急に調査を行い、それにとまなう施策を実施すべき。
- 4区 宇野周治 私行政機関や研究機関が市民と協働で放射能汚染対策を行うことが必要だと思ひます。国も財政支援を行うこと、人材を派遣するなどの支援が必要

です。

- 官僚の頭の中には、「自分たちは十分な対応策を考え実施しているのだ。NPOもどきに言われる筋合いはない」という上から目線の見方があるのではないかと考えます。地方の行政は目上(県は中央官僚を、市町村は県を)の言うことしか聞き入れない傾向があります。環境問題を一番熱心に、真面目に考え取り組んでいるのはNPO団体等であると考えますから、国、地方が様々な団体と共同して難問解決に取り組むのは当然のことと考えます。国会議員になったら、積極的に、適切な対応をしたいと思います。
- 6区 青木道子
- 6区 栗山天心 専門の委員会を立ち上げ、国レベルで考えていきたい。
- 7区 永岡桂子 放射性物質モニタリング調査は、基本的に国が責任を持って実施すべきものと考えます。その実施過程において、民間等による調査結果も必要に応じて勘案したり、場合により民間等との協働を図ることも可能と考えます。
- 比例 新谷正義 行政はより積極的に民間と協働し、合意を得ながら対策を実施すべきだと考えています。
- 比例 塩川鉄也 国は、放射能除染対策は自治体まかせで、専門家等の派遣や財政的な支援もきわめて不十分です。除染対策は、早く対応しなければ取り返しのつかないこととなります。地方自治体と住民が協力して放射能汚染対策を効果的なものとしていくためにも、国の放射能汚染対策を抜本的に改めさせることが必要です。
- 比例 梅村早江子 国は、放射能除染対策は自治体まかせで、専門家等の派遣や財政的な支援もきわめて不十分です。除染対策は、早く対応しなければ取り返しのつかないこととなります。地方自治体と住民が協力して放射能汚染対策を効果的なものとしていくためにも、国の放射能汚染対策を抜本的に改めさせることが必要です。

設問3. 東京湾の放射能汚染が問題になっていますが、霞ヶ浦はそれを上回る汚染が予測され、その影響の深刻さは比較になりません。今後流入河川からの放射性物質の湖への流入を阻止する対策が必要であると考えますか？

- 大量に拡散した放射性物質を取り除くことは、これまで経験したことのない長期にわたる取り組みになります。科学者、専門家、技術者、民間企業などの知恵と力を総結集し、放射能汚染の実態を調査し、除染をすすめる特別な体制が必要です。長期にわたる放射能調査と除染の課題は、国が国民の命と健康を守る一大事業と位置づけ、責任をもって取り組みことが必要です。
- 1区 田谷武夫
- 2区 原田雅也 さまざまな影響を勘案して最善の対策を取るべき。
- 3区 小林恭子 河川の汚染調査をただちに調査箇所を増やして実施するとともに、霞ヶ浦へ

の放射性物質の流入を防ぐ対策をたて、出来る限り霞ヶ浦に入らないよう手立てを取ることが必要です。

- 4区 高野 守 飲料水、農工業用水としての利水、霞ヶ浦の生態系などへの影響を考えるにあたり放射能物質の湖への流入を阻止すべき。
- 4区 宇野周治 放射性物質の湖への流入を阻止する対策は、科学者、技術者などあらゆる分野の知恵と総力で進める必要があります。
- 6区 青木道子 東京湾は、2年後が最大の汚染量、1kg当たり4000ベクレルに達すると報道されています。貴団体の調査では、もっとも汚染量が多い新川や備前川の底泥が徐々に霞ヶ浦に流入しているということです。すでに霞ヶ浦に達しているものと考えられますから、最悪のことを想定し直ちに浚渫等の対応が必要と考えます。
- 6区 栗山天心 是非必要である。さらに、放射能汚染レベルを下げるため、少しずつ海水の注入が有効であると考えます。
- 7区 永岡桂子 放射性物質モニタリング調査の結果等を踏まえ、放射性物質の湖への流入阻止対策については、関係省庁が一体となって、迅速かつ適切に対応する必要がありますと考えます。
- 比例 新谷正義 必要だと考えています。
- 比例 塩川鉄也 霞ヶ浦の放射能汚染が及ぼす影響は、甚大、深刻なものになる恐れがあります。すべての河川にたいする詳細で系統的な調査、霞ヶ浦への流入実態の把握と流入の阻止、徹底した除染対策、霞ヶ浦に蓄積した放射能汚染物質の低減化と除去など、全面的で長期にわたる対策が必要です。地方自治体、住民はもちろん、科学者や専門家等の力を結集できるように、国と県の責任ある対応と人的・財政的な支援が求められます。
- 比例 梅村早江子 霞ヶ浦の放射能汚染が及ぼす影響は、甚大、深刻なものになる恐れがあります。すべての河川にたいする詳細で系統的な調査、霞ヶ浦への流入実態の把握と流入の阻止、徹底した除染対策、霞ヶ浦に蓄積した放射能汚染物質の低減化と除去など、全面的で長期にわたる対策が必要です。地方自治体、住民はもちろん、科学者や専門家等の力を結集できるように、国と県の責任ある対応と人的・財政的な支援が求められます。

設問4. 原発事故後、国交省は霞ヶ浦の放射能汚染対策を一切講じようとせず、逆に水位上昇管理を行うために常陸川水門(逆水門)の閉鎖時間を増やし続け、湖の閉鎖性を高め放射性物質蓄積を促しています。このような事態に則し、国交省に湖への放射性物質の蓄積を抑えるための逆水門の柔軟な運用(開放時間を増やし湖からの排出を促す管理)がなされるべきだと考えますが、どう思われますか。

- 1区 田谷武夫 蓄積された放射能物質をどう低減化し取り除いていくのか、今後の大きな課

題となります。そのなかで逆水門の柔軟運用も検討されるべきだと思います。

- 2区 原田雅也 農業用水などとのバランスをとりながら、常陸川水門の開放時間を増やすことには賛成。
- 3区 小林恭子 逆水門の閉鎖時間を増やしたことは放射性物質の湖底への沈殿を増やす結果をまねく恐れがあります。水門を開く時間を増やすなど湖底への沈殿を防ぐ対策を早急に検討することが必要です。そのためにも、地域の研究機関・NPO・関係農漁業団体などの総力を生かした対策・協議を行うべきです。
- 4区 高野 守 まずは、早急で詳細な調査を実施しその結果に応じて、柔軟な対応を行うべき。
- 4区 宇野周治 いかに関放射性物質の蓄積を防ぐか、設問にもある「逆水門の柔軟な運用等」の検討も必要だと思います。
- 6区 青木道子 水に含まれている放射能は不検出ということですから、逆水門を開放することでどれだけ放射能が排出されるのか疑問です。水の排出と共に放射能を含んだ底泥を排出する必要があるのではないかと思います。うまい方法があれば非常に効果的であると考えます。
- 6区 栗山天心 是非、そうしてもらいたい。国として支援できるよう働きかけをしていけるよう努力したい。
- 7区 永岡桂子 放射性物質モニタリング調査の結果等を踏まえ、常陸川水門(逆水門)の運用については、総合的な判断の下に行われるべきであると考えます。
- 比例 新谷正義 正確な水需要の予測に基づき、柔軟な運用が必要と考えています。
- 比例 塩川鉄也 霞ヶ浦への放射性物質蓄積を低減化していくうえで、ご指摘の「逆水門の柔軟な運用」についても重要な選択肢のひとつとして検討されるべきだと思います。
- 比例 梅村早江子 霞ヶ浦への放射性物質蓄積を低減化していくうえで、ご指摘の「逆水門の柔軟な運用」についても重要な選択肢のひとつとして検討されるべきだと思います。

設問5. これまでに霞ヶ浦放射能汚染問題について、国会での質問等の活動をしてこられましたか。もし、ありましたらお示ください。

- 1区 田谷武夫 3・11以降、県に対して数次にわたって放射能汚染対策としてモニタリングの増設や食品検査体制、除染の徹底、子どもの健康調査などを要請してきました。
- 2区 原田雅也 新人候補者のため、国会での活動実績はありません。市議会議員として、広域で解決すべき課題の1つとして近隣市町村の議会と共に研究を重ね、意

見書の提出などに至りました。

- 3区 小林恭子 (無回答)
- 4区 高野 守 国会での質問はありません。
- 4区 宇野周治 県に対しては、衆院国政対策委員長として、子どもの健康診査、賠償、除染など申し入れてきました。
- 6区 青木道子 国会議員でなかったのでありません。
本来なら、県レベルで調査するべきです。流入河川対策は、絶対必要と考えます。予算など、国にお願いするよう働きかけるにしても、住民の声をあげていくことが大事です。
- 7区 永岡桂子 これまで、霞ヶ浦に関する質問はしておりません。
- 比例 新谷正義 (無回答)
- 比例 塩川鉄也 茨城県をはじめ北関東の各県の放射能汚染問題についてとりくんできました。昨年10月12日には、党茨城県議団・地方議員団とともに、関係各省庁との交渉をおこない、「飲料水の水源地となる霞ヶ浦には、56本の河川が流入しており、県と協力し放射性物質の霞ヶ浦への蓄積に対する調査を行い公表すること」を強く求めてきました。
二児の母親として放射能測定運動に積極的に参加してきました。子どもたちへの影響は最小限にしなければなりません。霞ヶ浦でも食品検査体制の強化、除染の徹底を進めていきたいと思っております。

設問6. その他、霞ヶ浦の放射能汚染問題について、何かご意見やお考えがあればお示し下さい。

- 1区 田谷武夫 ひとたび放射性物質が大量に放出されたときの被害の大きさを思い知らされます。福島第1原発の事故はまだ収束どころか、被害を拡大しています。二度と原発災害を繰り返してなりません。再稼働をやめさせ、「即時原発ゼロ」の政治決断を求めていきます。
- 2区 原田雅也 住民の皆様にとって安心安全な霞ヶ浦となるよう精一杯頑張ります。
- 3区 小林恭子 (無回答)
- 4区 高野 守 霞ヶ浦の問題、高萩の最終処分場の問題等、国の責任で対応していく必要がある。
- 4区 宇野周治 原発事故、放射能汚染事故は2度と繰り返してはいけません。稼働を続ける限り、「核のゴミ」が増え続けます。「即時原発ゼロ」の実現のためにがんばります。
- 6区 青木道子 水道水の測定結果不検出ということですが、それでも心配で水道水は飲まないという方が大勢います。どのように説明するのか迷うところです。霞ヶ浦

の底泥が汚染され、それによって微生物、エビやカニが汚染され、それらを食べるウナギ等の肉食の魚が汚染され続けます。漁業を仕事にしている方々にとってはまさに死活問題です。何らかの解決策が緊急に求められていると思います。

かけがえのない水源を守ることは、いのちを守ることです。今後も活動を続けていただきたい。汚染除去については、地上と同じように行う。

方法

水草を刈り、新しい水草を植える。

6区 栗山天心

汚泥を取り除き袋などのカバーをつけた状態で、地中にうめる。高速道路などの縁に樹脂コーティングした状態でカバーし、樹脂の中に草の種を混ぜ、のちに発芽するようにしておく。長い間には自然にもどすことができる。海水を徐々に注入し、海に徐々に流して、浄化していく。

霞ヶ浦は茨城県民の生活を支える重要な湖であり、霞ヶ浦の放射能汚染問題は、県民の生命、健康にかかわる重大な問題であると認識しております。

7区 永岡桂子

今後とも、モニタリング結果を注意深く観察するとともに、県民の安全を最優先に考え、要すれば、国政の場においてもこの問題を取りあげて参りたいと考えております。

比例 新谷正義

(無回答)

霞ヶ浦の放射性物質汚染は、原発事故がひとたび起これば、被害は空間的にも、時間的にも、社会的にも限定なしに広がっていくことを改めて示しています。放射能汚染に対する県民の不安と懸念は当然であり、徹底した対策のために奮闘したいと思います。

比例 塩川鉄也

原発事故は二度と起こしてはなりません。「即時原発ゼロ」の政治決断を求めていきます。

原発事故がひとたび起これば、放射性物質は大量に放出されます。被害は空間的にも、時間的にも、社会的にも限定なく広がっていきます。放射能汚染に対する不安と懸念は当然であり、徹底した対策が必要です。そのために奮闘したいと思います。

比例 梅村早江子

原発事故は二度と起こしてはなりません。「即時原発ゼロ」の政治決断を求めていきます。

いのちの水・霞ヶ浦を守る市民ネットワーク